

平成28年度大学コンソーシアムやまがた第1回幹事会議事録

日 時：平成28年6月8日（水）13：30～14：40

場 所：ゆうキャンパス・ステーション

出席者：委員長 安田 弘法（山形大学）

副委員長 井上 元治（米沢栄養大学・米沢女子短期大学）

大川 健嗣（東北文教大学）

委 員 田中 浩（鶴岡工業高等専門学校）

神田 直弥（東北公益文科大学）

藤原 茂樹（放送大学山形学習センター）

遠藤 隆弘（山形県）

松田 芳徳（産業技術短期大学校・山形校）

五十嵐文彦（農林大学校）→代理 廣野 直芳

菅原 邦生（山形工科短期大学校）

栗山 恭直（企画会議委員長／山形大学）

欠席者：副委員長 遠藤 節子（東北芸術工科大学）

川崎 正則（保健医療大学）

委 員 柏倉 弘和（羽陽学園短期大学）

田畑 信二（産業技術短期大学校・庄内校）

説明者：横井 博（山形人材育成委員会・企画運営部会長／山形大学教授）

陪席者：成田 博昭（山形大学教育・学生支援部長）

武田 仁志（山形大学教育・学生支援部学務課長）

事務局：齋藤幸太郎、西田 靖子

会議に先立ち、事務局から新たに委員になった5名の紹介、代理出席者、報告事項の説明者、陪席者及び過半数委員の出席による会議成立の報告があった。

議題

【協議事項】

1 委員長等の選任について

事務局から、幹事会委員長と副委員長の選任について会則に基づき説明の後、選任方法について事務局提案を基に審議することとなり、これまで担当いただいた機関に引き続きお願いすることで了承され、委員長には安田委員（山形大学）、副委員長には遠藤委員（東北芸術工科大学）、川崎委員（山形県立保健医療大学）、井上委員（山形県立米沢栄養大学・米沢女子短期大学）及び大川委員（東北文教大学）がそれぞれ選任された。

安田委員長から再任の挨拶の後、議事が再開され、また、前回（平成28年3月2日）開催議事録の報告と今回の議事録署名人に鶴岡工業高等専門学校の田中委員及び山形

県の遠藤委員の二人へ依頼があった。

【報告事項】

2 山形人材育成委員会の平成27年度活動報告について

山形大学横井教授から資料1の平成27年度報告書(冊子)に基づき、平成27年度に行った活動内容について以下のとおり報告があった。

(報告要旨)

- ・5頁の「社会人力育成山形講座の開講」について、26科目を開講し、受講者数は414名、単位互換者数は54名となった。
- ・50頁からの「授業についてのアンケート調査」について、57頁に平成26年度と平成27年度を比較した分析があり、学生の社会人力評価はほぼ同様であること、授業評価は少し良くなっていること、関係者による学生の受講態度の評価が悪くなっている数値が出ている。
- ・61頁の「連携取組評価」では、平成26年度と平成27年度との評価を比較すると平成27年度の方が評価が高くなっていることが見て取れる。
- ・67頁からの「社会人力IR評価」について、例えば就労意向別社会人力評価では、データ数が273人であるが80人と3割弱の学生が山形県出身者で、そのうち山形県で働きたい、チャンスがあれば働きたいは53人となっている。結果を71頁に載せている。
- ・91頁から「総会・各部会等の開催記録」を載せている。併せて15回ほど山形人材育成委員会の諸会議とその内容も提示している。97頁がそのメンバーである。
- ・最後に102頁に本事業の最終年度である平成28年度の事業計画を載せている。改めて総括を行い、報告書のみならず成果報告会を行ってまとめていきたい。加えて本事業を平成29年度以降へどのようにつなげていくかについても併せてまとめていきたい。

以上

(主な意見交換等の内容)

特になし

3 平成27年度事業報告について

事務局から、平成27年度事業報告について資料2に基づき以下の説明があった。

(説明要旨)

「大学コンソーシアムやまがたの顔となる事業」について

- ・1の「高等教育山形宣言」プロジェクトは、山形大学2件、山形工科短期大学校1件、計3件の採択・実施となった。
- ・「2 企画会議主催プロジェクト」について、(1)やまがた夜話は、平成27年度は延べ1,376人の参加があった。(2)ビブリオバトル首都決戦2015は、10月

24日に山形大学小白川図書館の主催で行われ、山形大学生6名の参加があった。(3)山形大学男女共同参画シンポジウムは、2月4日に米沢市で開催され、本コンソーシアムから西田が参加した。(4)小学生を対象とした体験型学習の開催は、11月15日にゆうキャンパス・ステーションと駅西の芝ゾーンを使って「イヌワシふれあい体験」を開催し、小学生とその保護者約70名の参加があった。(5)プロスポーツを活用した中山間地域活性化活動の開催は、2月20日に山辺町大学大蔵で行い、学生ボランティアとして東北芸術工科大学学生13名が参加した。

「連携事業」について、

- ・(1)単位互換の推進では、単位互換受講者数は前・後期併せて延75人となった。また、平成26年度から創設されました「履修学生交通費支援制度」を利用した学生は11人であった。(2)大学進学等説明会は、27年度は延べ15高校において開催され、うち11校については事務局からも出向いて対応した。

「教職員の交流事業」について

- ・石川県野々市市で開催された「全国大学コンソーシアム協議会総会」及び「全国大学コンソーシアム研究フォーラム」へ事務局長と山形大学学務課長の二人が参加し、他コンソーシアムとの情報交換を行った。

「紀要等の電子化公開支援事業」について

- ・今年度、国立情報学研究所が運営する JAIRO Cloud へ山形大学のリポジトリが移行したことに伴い、加盟機関の紀要等の電子化は行われなかった。また、次年度以降は加盟機関各々でリポジトリを立ち上げていくことになるので本事業は発展的解消となる。

「広報事業」について

- ・パンフレットは、28年度に山形県立農業大学校が山形県立農林大学校へ名称変更が予定されることがわかっていたため、平成27年度の作成を見送り、平成28年度早々に作成することとした。

「受託事業」について

- ・先ほど、横井先生から詳細にご報告いただいたので省略。

「協力事業」について

- ・県が開催している「日本一さくらんぼ祭り」へ学生パフォーマンス・やまがたゆうキャンパスステージとして、学生募集の協力を行うと共に当日も事務局から応援に出向いた。

以上

(主な意見交換等の内容)

特になし

4 平成27年度収支決算(案)及び監査報告について

事務局から、平成27年度収支決算(案)について、資料3に基づき以下の説明があった。

(説明要旨)

- ・収入、収支表の一番左の欄は、平成28年3月2日の幹事会において決算額に近い形で補正予算を作成すべきとの意見を踏まえ、3月24日開催の総会に諮った第一次補正後の予算を計上した。
- ・収入の欄では、受託事業収入は大学間連携共同教育推進事業として、山形大学から本コンソーシアムに委託されている「山形人材育成委員会」の各委員会の欠席者の旅費及び謝金に残額が生じたため、山形大学に返金した189,423円を減額補正としている。そのほかの項目は変わらないので決算額合計は11,596,803円となった。
- ・支出の欄で、項目1大学コンソーシアムやまがたの顔となる事業は、「高等教育山形宣言」プロジェクトで1件分について使用残があり返還分39,002円を減額補正とした。
- ・大学コンソーシアム運営費は、総会等会議開催経費と共通経費(消耗品費)及び人件費併せて37,095円の減額補正とした。
- ・ゆうキャンパス・ステーション運営費は、光熱水料と事業推進費(消耗品等)で19,748円の減額補正とした。
- ・大学間連携共同教育推進事業分の189,423円を除く減額分95,845円は予備費を増額補正として計上している。従って支出決算額は9,042,596円となった。
- ・以上、収入決算額11,596,803円から支出決算額9,042,596円を差し引いた2,554,207円が28年度への繰越額となる。

引続き、監査報告について事務局から以下の報告があった。

- ・平成28年5月27日に山形県総務部長の柴田監事に、また、5月30日に米沢栄養大学長の鈴木監事に監査してもらった。その結果、資料4のとおり「その内容については概ね適正である」ことの報告をもらった。今回「概ね」となった理由は、山形駅東口交通センターから購入している「駐車補助券」の受払簿を付けていなかったために指導があったもので、この結果については6月28日開催の「総会」において、監事から報告してもらうことになっている。

以上

(主な意見交換等の内容)

- Q:よくわからないのだが、予備費の取り扱いというのはどのように見ればよいのか。
(予備費の)95,845円は実支出額となっているのか。(藤原委員)
- A:減額補正とした分を予備費に繰り入れた形としている。(事務局)

以上の質疑応答ののち、平成27年度収支決算(案)及び監査報告について、了承された。

5 平成28年度事業計画(案)及び収支予算(案)について

事務局から、事業計画(案)について資料5及び資料5別紙について、以下の説明があった。

(説明要旨)

- ・事業計画書1頁目の前文に記載のように、『大学間連携共同教育推進事業については、大学コンソーシアムやまがたの設置目的に極めて合致した事業であることから、最重要事業と位置付けて、強力に実施していく』としている。本事業は、平成28年度が最終年度となる。
- ・「2企画会議事業」は、「やまがた夜話」は引き続き実施したい。また、その他のイベントについても、27年度と同様に4つの事業を展開していく。ただし、ビブリオバトルについては、平成27年度は山形大学生のみの参加であったことから、28年度の状況次第では見直しも考えている。
- ・「連携事業」の(2)大学等進学説明会は、平成28年度の説明会についてはすでに実施している高校もあるので、あらかじめ了承願いたい。
- ・次の(3)「やまがた高等教育職業フォーラム」の開催については、前回の幹事会、総会において承認をもらっているもの。高校生の夏休み中の開催に向けて菅原委員に企画案を作成してもらった。8月21日(日)を開催予定日を進めたいと考えているが、実施会議として、菅原委員、事務局のほかに2名ほど実施会議委員として協力をいただきたいので、後ほど協議願いたい。
- ・「受託事業」は、大学間連携共同教育推進事業の一部として平成28年度も山形大学から委託されている。山形人材育成委員会を中心にして、標記の事業を展開していく予定だが、最終年度ということもあり、各機関の協力をお願いする。
- ・最後の「協力事業」である「日本一のさくらんぼ祭り」は今年6月18日、19日の2日間行われるが、18日にアズ七日町前に設置される「ゆうキャンパス・ステージ」に学生11団体の参加が予定されている。

引続き事務局から資料6に基づき、平成28年度収支予算(案)の説明が以下のとおりであった。

- ・収入について、「機関負担金収入」は、4,305,851円。
- ・「ゆうキャンパス・ステーション運営費負担金」は、3,060,000円。
- ・「繰越金」は、資料3の決算報告の額2,554,207円。
- ・「受託事業収入」は、大学間連携共同教育推進事業における山形人材育成委員会に対する受託事業で、昨年度124万円から90万円となっている。理由は、本事業が最終年度となることから、29年度に向けたハンドブック作成の必要がなくなるため、これに雑収入1,000円を加えた10,821,058円が収入予算額。
- ・支出について、昨年度と大きく変わった点を重点的に説明。

「大学コンソーシアムやまがたの顔となる事業」について

- ・高等教育山形宣言プロジェクトは、昨年度5件分75万円から今年度4件分60万円に減額計上した。

「連携事業」について

- ・単位互換の推進は、チラシ印刷費と送料の実績が9万円程度であったので、27年度より5万円減額し10万円を計上した。

- ・やまがた高等教育職業フォーラムを新規事業として、20万円を会場借上費及び消耗品を見込んで計上している。

「教職員の交流・連携事業」

- ・28年度の全国大学コンソーシアムの総会と研究フォーラムが広島市で開催されるため、参加旅費2名分17万円を計上している。
なお、昨年度までであった「紀要等の電子化公開支援事業」は、リポジトリを各機関で立ち上げることになるため、項目から削除した。

「広報事業」

- ・パンフレット作成のために28万円を計上。

「大学コンソーシアムやまがた運営費」

- ・内容の5番目、事務局運営共通経費を昨年度の495,879円から700,000円にしている。
27年度はコピー印刷等で赤字となったこと、また、プロジェクター1台が壊れ修理費が必要となるために増額とした。

「ゆうキャンパス・ステーション運営費」

- ・ゆうキャンパス・ステーションの借料は、昨年度の300万円から今年度より年額200万円にしてもらったため、消費税込みで216万円を計上した。

「大学間連携共同教育推進事業」

- ・受託額90万円を計上。

以上の内容により、合計10,821,058円を支出予算として計上した。

以上

次いで、「やまがた高等教育職業フォーラム」について、菅原委員から補足説明があり、平成28年度事業計画（案）及び平成28年度収支予算（案）は承認された。

また、放送大学山形学習センター藤原委員から、別途以下の要望があった。

- 事務局へは今年度初めに個別に要望しているものだが、放送大学で行っている公開講演会について、今までは11月に「やまがた夜話」として行っていたが、1月、2月に行うことで平準化を図りたいと考えているので、実施に向けてこの幹事会の場でもお願いしたい。

【その他】

1 ゆうキャンパス・ステーションについて

事務局から、前回の幹事会で情報提供された内容のその後の状況について、5月27日に県庁へ出向き、聞いてきた内容の報告が以下のとおりあった。

（報告内容）

- ・大きく変わった点は、ゆうキャンパスを遊学館へ移転するか否かの意思表示の時期について、今回は平成28年12月頃までにもraitたいとのことであったが、今回8月末ま

でもらいたい旨であった。

- ・事務局としては、現在のゆうキャンパス・ステーションのように「夜話」や学生サークルの会合、先生方の研究会・打合せに気軽に使えるスペースを常時確保できないかなど、この場所と同様に使い勝手が良く出来ないかについて提案してきたが、この場合の経費がどのくらいかかるかなど明確な回答がまだないため、比較ができず、現時点でこの会議に諮る状況にないので県の回答を待って、再度幹事会へ諮りたいと考えている。

このことについて、以下の質疑応答があった。

Q：従来通り土日の利用が出来るのかなど、状況がよくわからないのだが、基本的には移ることを前提に考えているのか。(大川委員)

A：全く白紙の状態である。幹事会へ諮って意見を整理して回答したいと考えているが、そこまでも行っていない状況である。(県は) プロポーザル方式による入札を考えており、(移転の) 意向があれば設計段階から入ってもらいたいとの考えのようであった。繰り返すが、面積や2階か3階になるのかさえも分からない状況であることしかお伝えできないでいる。

委員長から、8月末までに意思表示をしてほしい旨であるが、判断する情報がない現状を知ってもらったうえで、情報がわかり次第、8月末まで意思表示ができるように幹事会を開催して対応したい旨の話があった。

2 その他

事務局から、9月以降の「やまがた夜話」の講師が決まっていないため、幹事会委員からも講師の推薦をお願いしたい旨の依頼があった。

以上

【配付資料】

資料 No. なし・幹事会委員名簿

- ・大学コンソーシアムやまがた会則
- ・平成27年度大学コンソーシアムやまがた第3回幹事会議事録
(平成28年3月2日開催)

資料1 平成27年度山形人材育成委員会事業報告書(席上配布)

資料2 平成27年度大学コンソーシアムやまがた事業報告書

資料3 平成27年度大学コンソーシアムやまがた収支決算書(案)

資料4 監事監査に関する資料(5月30日:監事監査)

資料5 平成28年度大学コンソーシアムやまがた事業計画書(案)

資料6 平成28年度大学コンソーシアムやまがた収支予算書(案)

資料7 ゆうキャンパス・ステーションについて

参考資料1 平成28年度「高等教育山形宣言プロジェクト」事業募集

参考資料2 第5回「日本一さくらんぼ祭り」学生パフォーマンス出演団体募集への

協力について（依頼）

参考資料3 やまがた夜話（5月）「旅の人」が見た山形 やまがたゆかりの人びと
—近代編2—

やまがた夜話（6月）「月山を学び、地域を知るⅡ」

やまがた夜話（7月）「医師の目からみたお話し」

議事録署名人

山形大学理事・副学長

田 弘 法



鶴岡工業高等専門学校
教授

田 中 浩



山形県総務部学事文書課
課長

遠 藤 隆 弘

